

世界の母の日ってどんなことなの？

この記事を読んでいらっしゃる方には、お母さんをされている人も多いのではないかと思います。

5月といえば、母の日。母の日といえばカーネーションというイメージが根付いていると思いますが、実はこのカーネーション、アメリカが発端らしいんですね。

20世紀に母を亡くした女性アンナが、母を追悼する会を開き、お母さんが好きだった白いカーネーションを追悼者に配ったのがきっかけなんだとか。母を想う気持ちに触発された人たちの中で広まり、母の日を祝う風習ができたんだとか。

日本には明治時代に伝来してきたそうです。日本独自の文化だと思ってました。違うんですね！
もっと時代を遡ると、紀元前から母の日のようなイベントは存在したんだそうです。いつの時代も母は偉大ですね。

さて、母の日に贈られるカーネーションですが、色によって意味合いが違うのってご存知でした？
なんとなく母の日のカーネーションは赤が定番だと思いますが、赤のカーネーションは健在の母を想うものとされ、白いカーネーションは亡くなった母をしのぶという意味合いがあるんだとか。

日本でも、最初は区別されていたそうですが、それによって傷つく子どもたちのことを考慮し、赤に統一されたそうです。

さて、今年の母の日ですが、もちろん私自身は毎年母の日に実母と夫の母にカーネーションを送っています。

ですが、この記事の趣旨は子どもと楽しむことがポイント。
うちの子(下の子は1歳なので、期待できませんが)上の娘が何かやってくれたりするのかな〜・・・。

と思っていた矢先、ピアノ教室でお母さんの歌を習ってきて、歌ってくれました。
いつでも無償の愛をくれるのは母ではなく我が子なんですよ。
お母さん業、頑張ろうと思いました。

